

**2008年03月23日改訂(新様式第3版)

*2006年10月23日改訂(新様式第2版)

2006年08月23日作成(新様式第1版)

*届出番号 : 13B1X90004000005

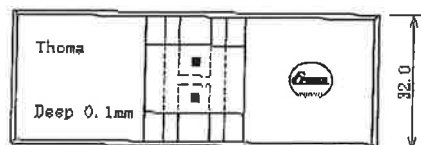
機械器具 17 血液検査用器具 手動式血球計数装置(35103000) 一般医療機器

(H18年 厚生労働省告示第298号[クラス分類告示]による)

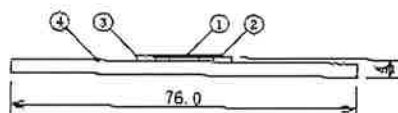
血球計算盤

【形状・構造及び原理等】

1. 上面図



2. 横断面図



- ①計算室
- ②デッキグラス
- ③堤
- ④計算盤

【使用目的、効果又は効能】

本装置は一定の深さのくぼみのあるブロックと線で四角く区切られた平面から構成される。区切られた四角とデッキグラスの間の既知の容量中の血球を顕微鏡を通して計算する。

【品目仕様等】

●寸法(mm) 76.0(幅)×4(高さ)×32.0(奥行き)

【操作方法又は使用方法等】

1. 基本操作

- (1) きれいに洗浄され拭き取られた計算盤にきれいなデッキグラスを計算盤の左右の堤の上に当たるように置いて下さい。
- (2) デッキグラスの上面の両端を、両手親指で斜めに擦り込むように軽く押さえてください。

※

- (3) 正しい位置にデッキグラスが装着されているかの確認は計算盤の左右の堤の部分に虹の環(ニュートンリング)がみえる事で確認できます。ニュートンリングが見えない時は計算盤・デッキグラスの汚れかデッキグラスの装着不良と思われるので、再度洗浄等の同様操作を行って下さい。
(エルマ計算盤は、押さえ金具付きケースに入っていますので、ニュートンリングが見えたら押さえ金具でデッキグラスを押さえてください。)

- (4) ニュートンリングが見えたら、サンプルを計算盤の計算室に入れます。
- (5) サンプルが入った計算盤を顕微鏡のステージに乗せます。
- (6) サンプルが計算室にのっていると、液体の屈折率の影響でピントが少しずれます。微動ツマミで再度ピントを合わせて下さい。

【使用上の注意】

ブライトライン血球計算盤は使用に当たって次の注意をお守り下さい。

- (1) 強酸、強アルカリ液に浸漬したり、洗浄等に使用されますと、蒸着被膜が侵され薄くなったり、剥がれたりする場合がありますので御注意下さい。
- (2) 計算室の洗浄にはレンズペーパーやセーム皮を使用しないでください。きれいな、柔らかい布やガーゼ等にエーテル、アルコールを含ませて拭拭して下さい。
- (3) 切削、摩擦によって計算室を損傷しないように十分御注意下さい。

【包装】

1個/箱

【製造販売業者の氏名及び住所等】

製造販売業者氏名: エルマ販売株式会社

住 所: 〒113-0034

東京都文京区湯島 2-31-6 湯島堀井ビル

電話番号: 03-3818-6261

取扱説明書を必ずご参照下さい。